

しっかり勉強してきた
自分を信じられた

次世代 HERO

Next Generation's Hero

第1回全国高等学校
日商簿記選手権大会(日商簿記甲子園)
個人総合優勝



下関商業高等学校 3年生

たむらあおと
田村 碧斗 さん

●日商簿記1級プロジェクト

簿記部の気鋭の生徒たちが集い、平日2.5時間、土曜日6時間、簿記を勉強し、それぞれの目標に向かい、研鑽しています。



▲学校HP

岐 卓上で開催された全国大会には、予選を通過した30校103人が参加。下関商業高校からは簿記部員5人が出場しました。この大会は筆記形式で、合格率10%ほどの難関試験として知られる日商簿記検定1級の試験範囲から出題。簿記会計を学ぶ、スピードと正確性を兼ね備えた猛者たちが点数を競います。3時間に及ぶ試験を終え、結果発表。田村碧斗さんは100点満点中94点で

見事、個人総合優勝を果たしました。顧問の福田武士先生は「彼は目的意識をしっかり持っている。毎朝6時30分には学校で自主勉強するなど努力も惜しまなかった」と評価。田村さんに今後の目標を尋ねると「資格取得のためではなくて、将来資格を役に立てるために、実践的なことや本質を考えながら勉強しています。公認会計士を目指しています」と真剣に思いを語ってくれました。



環境に恵まれ、挑戦する気持ちで大事にしたから今の自分がある。



悲願の初優勝 北九州下関 フェニックス



市長コラム 希望の風 市長の部屋

剛さん(現総監督)も本当に喜んでおられましたし、竹森広樹社長と共にこのご縁で下関にも時々足を運んでくださっており、今では両氏は無くてはならない下関の応援団です！
オーヴィジョンスタジアム下関の内野の土や外野の芝、改修したスコアボードは、選手の皆さんにとっても好評で、彼らも下関に愛着を感じてくれているようです。皆さん、これを機に、北九州下関フェニックスと一緒に応援していきませんか？

昨年、良い成績を残しながらも優勝することができませんでしたが、今年は投打の勢いも素晴らしく(チーム打率は驚異の3割3分9厘)、終わってみれば76試合中55勝18敗3分という圧倒的な内容でリーグ制覇。昨年、一昨年と監督を務めた元ロッテ・阪神のレジエント西岡剛さん(現総監督)も本当に喜んでおられましたし、竹森広樹社長と共にこのご縁で下関にも時々足を運んでくださっており、今では両氏は無くてはならない下関の応援団です！

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。いや〜ついに、ついに初優勝ですよ！市報でも特集を組んで皆さんに紹介しました野球チーム、我が「北九州下関フェニックス」が、独立リーグ九州アジアリーグ参入3年目にして、初のリーグ優勝を手にしました！
もともとは福岡北九州フェニックスという名前前でスタートしたのですが、下関からのラブコールもあり、関門都市圏に可能性を見いだしたオーナーの堀江貴文さんが「福岡から下関に変える」と私の前で明言してくださって、2023年から正式に今の名前になりました。